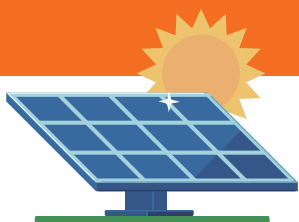


もしもの時のための備えを

平成30年の北海道胆振東部地震の教訓等を踏まえ、
平時より十分な備えをしておきましょう。

停電に備えた日頃の準備

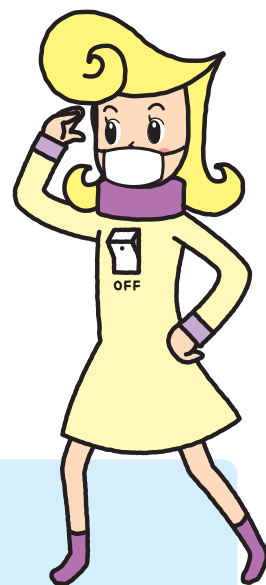


太陽光発電を ご自宅に設置されている方は

ご自宅の屋根などに太陽光発電パネルを設置されている方は、停電時でも「自立運転機能」により発電している日中は電気を使うことができます。*

自立運転機能の使用方法は、メーカーや機種によって操作方法が異なることから、あらかじめ、取扱説明書などを確認しておきましょう。ただし、発電や蓄電の容量は限られていますので、停電の場合にも有効に活用できるよう、日頃からご自宅で使用している家電の消費電力を把握しておくなど、準備しておきましょう。

※蓄電機能が付いている機種は夜間の使用も可能となります。



主な家電の消費電力

電子レンジ……………1,000～1,500W
ドライヤー……………1,000～1,200W
電気ポット(沸騰時)……………900～1,000W
エアコン……………300～2,200W

冷蔵庫(400ℓ、電動機)……………100～150W
液晶テレビ(32型)……………50～100W
LEDシーリングライト(8帖)……………40～60W

※掲載のW(ワット)数は定格消費電力の一例であり、実際の使用時の消費電力は製品の種類、使用方法により異なります。出典 道庁調べ

非常用発電設備をお持ちの方へ

非常用発電設備の燃料備蓄状況を確認してください

十分な量があるか

災害時には、燃料の輸送手段が確保できなくなったり、営業している給油所に給油を求め方が集中する等、燃料の確保に時間を要する可能性があります。日頃から十分な備蓄量があるか確認しましょう。

保存方法と定期的な点検

酸化・劣化による燃焼不良や、沈殿物発生による燃料フィルターの目詰まり等を防ぐため、涼しい場所に密閉して保存するとともに、定期的に点検及び入替を行ってください。

大規模停電が発生した場合に 備えた<事例集>を作成しました。

道では、大規模停電が発生した場合に生活・産業・交通インフラ等の各分野で懸念される事象、停電への備え及び対応事例等について、関係業界や個別企業、行政機関等へのヒアリングを実施し、<事例集>としてとりまとめましたので、ご活用ください。



●詳しい情報はこちらへ

この夏の節電について

この夏の電力需給は、北海道では安定供給に必要な予備率が確保できていますが、東北・東京・中部など本州エリアで大変厳しい見通しとなっています。こうした中、国では、全国を対象として、数値目標を設定しない節電への協力要請を行っています。

道では、安定的な電力需給の確保に向け、無理のない範囲での節電の取組をお願いしています。

この夏は、無理のない範囲で節電にご協力おねがいします！



電力の需給ひっ迫があらかじめ想定される時には、国や電力会社から事前に情報が提供されるんだよ。



需給ひっ迫準備情報

2日前に予備率が5%を下回る見通しの場合、一般送配電事業者より発信

需給ひっ迫注意報

1日前または当日に予備率が3~5%の見通しの場合、資源エネルギー庁より発令

需給ひっ迫警報

1日前または当日に予備率が3%を下回る見通しの場合、資源エネルギー庁より発令 ※予備率:電力需要に対して供給余力の余裕がどの程度あるかを示したもの

状況に応じて節電の仕方を考えるとよいわね。



満タン&灯油プラス1缶運動

満タン&灯油プラス1缶運動とは、大規模災害発生直後、店頭混雑によってガソリン等燃料が入手困難となった状況を回避するために、「日頃から車の燃料が半分程度になったら満タンにしておくこと」や「灯油を1缶余分に保管しておくこと」を推奨する運動です。



車の燃料が満タンになれば

- プライバシー空間としての車内を情報収集拠点として利用できます。
- 400km程度の移動が可能になります。(タンク容量、車両燃費により異なります)

灯油が1缶(18ℓ)余分があれば

- 暖かい空間を85時間程度維持できます。(和室7帖を中火燃焼した場合)
- ホームタンクをお使いの地区でも、1缶余分に持つことで災害時の安心度が高まります。

もしもの時のために、車は満タンに、灯油は多めに備えましょう。

●お問い合わせ先
全国石油商業組合連合会
TEL:03-3593-5811(代)
FAX:03-3580-9245



電力需給情報をチェック!

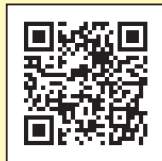


■「でんき予報」では、その日の電力の供給力と使用状況をお知らせしています。夕方には翌日の予報も発表されます。

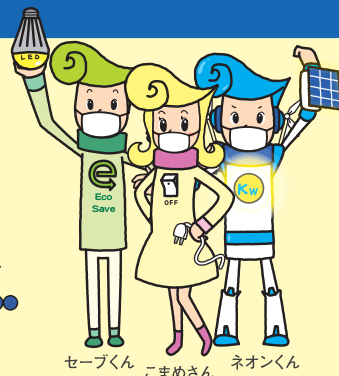
●北海道エリアのでんき予報

北海道エリア でんき

検索

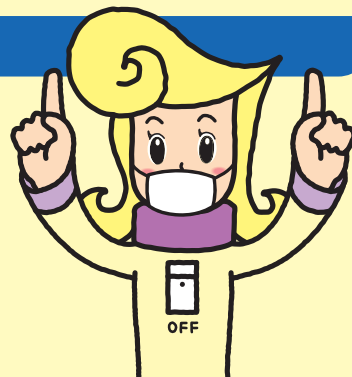


北海道省エネ新エネ
キャラクターユニット



あなたに合った電気を選べます

- 家庭への電気の販売が自由化され、皆さんのライフスタイルに合った小売電気事業者をいつでも自由に選ぶことができます。
- 正確な情報を収集し、契約内容をよく理解しましょう。自由化に便乗した勧誘にも気をつけましょう。



相談窓口

電力の小売全面自由化の制度や登録している小売電気事業者などについて

●経済産業省問い合わせ窓口
TEL:0570-028-555
(受付時間 平日9:00-18:00)

●ホームページ

エネ庁 電力小売自由化

検索



小売契約の締結にあたってのトラブルについて

●経済産業省電力・ガス取引監視等委員会 相談窓口
TEL:03-3501-5725
(受付時間 平日9:30-18:15)

●消費者ホットライン(TEL:局番なしの「188」)
※市町村や北海道が設置している身近な消費生活相談窓口を御案内します。

カンタン省エネ、おトクに始めましょう。

「実践! おうちで省エネ」

毎日の暮らしの中で、みなさんが無理なくできる省エネをご紹介します。エネルギーを大切に使うことが家計の節約にもなりますので、ぜひ実践しましょう。

●実践! おうちで省エネ
「北海道経済産業局」

実践 おうちで省エネ

検索



節電・省エネ! ワンポイントアドバイス 古い家電の買い換えも効果的!

冷蔵庫、テレビ、LED照明など、近年、消費電力が小さい家電が販売されています。今あるものを大切に使うことも良いことですが、省エネ性能の高い家電への買い換えも検討しませんか。



工場、建物の省エネ編

工場や建物の省エネを検討される事業者向けの省エネ診断・支援サービスや相談窓口をご紹介します。

相談窓口 ～実際に省エネに取り組みませんか?～



「省エネ最適化診断サービス」
「省エネ無料講師派遣」などについて

●(一財)省エネルギーセンター

省エネ・節電ポータルサイト

検索



「ESCO事業」などについて

●(一社)ESCO・エネルギーマネジメント
推進協議会

ESCO・エネルギーマネジメント推進協議会

検索

